

2022年度 第3回 日本ゴルフサミット会議 運営会議 議事要旨

日時 2022年4月22日(金)10:30~12:00

開催方法 ZoomによるWEB会議

出席

日本ゴルフ協会(JGA)、日本プロゴルフ協会(PGA)、日本女子プロゴルフ協会(JLPGA)、
日本芝草研究開発機構(TOJ)、日本ゴルフ場経営者協会(NGK)、全国ゴルフ場関連事業協会
(JGIA)、日本パブリックゴルフ協会(PGS)、日本ゴルフ用品協会(JGGA)、
日本ゴルフトーナメント振興協会(GTPA)、全日本ゴルフ練習場連盟(JGRA)、
日本ゴルフ場支配人会連合会、日本ゴルフコース設計者協会(JSGCA)、
日本ゴルフジャーナリスト協会(JGJA)、日本ゴルフツアー機構(JGTO)

欠席

全国ゴルフ会員権取引業団体連絡会(JGMD)

【議題】

■承認事項

1. 2023年度ゴルフ新年会について

JGAより、前回の運営会議で決定した通りの開催規模と部屋で開催するにあたり、大部屋をキャンセルしたとの説明があった。

JGAより、詳細については来年1月まで変更可能であることが示され、引き続き検討することとし、部屋の確保については提案通りの内容で予約することが承認された。

2. 日本ゴルフサミット会議会則の変更について

JGAより、会則の変更についてはサミット会議で承認を得る必要があるが、運営会議においても引き続き議論をしたいとの説明があり、以下の通り提案がされた。

第5章第11条 1. 役員

1. 役員の数

- ① 現会則の「監事2名以内」について、相互監視の意味があるため、「以内」を削除し、「2名」とする。
- ② 代表幹事は幹事の互選により選出することになっているが、JGAは幹事団体に入っていないにも拘わらず代表幹事になってしまっており、矛盾が生じている。幹事数については、現状に則した形で「3名以上5名以内」とする。

2. 役員の任期及び交代時期

元会則では、役員の交代時期が「ゴルフ新年会の結果報告を審議する運営会議終了時」となっているが、今後の新年会の在り方を考慮すると、例えば、会計年度終了後の第1回目の運営会議までとする。

3. 現幹事団体の JLPGA、NGK、JGMD の地位

出席団体より以下の意見が出された。

① 役員の数

NGK: 幹事の人数に拘わらず、例えば、「運営会議の互選で幹事を選出する」等、幹事の選出方法を会則で定める必要がある。

② 役員の任期及び交代時期

PGA・TOJ: 任期満了の月を設けてはどうか。サミット会議が毎年 1 月に開催する場合は、開催後の 3 月末くらいでどうか。

NGK: 会則を変更するのであれば、代表幹事及び副代表幹事の任期は、2024 年の新年会終了時に任期満了で良いのではないか。

③ 現幹事団体の JLPGA、NGK、JGMD の地位

NGK: 現体制で進めて良いのではないか。ただし、役員任期等は会則に則って運営すべきであり、矛盾が生じれば会則を変更したほうが良いのではないか。

JLPGA: 会則上は輪番制となっているが、新幹事は会則に則った形でない体制で選任されたため、新組織に合致した会則変更を進めたほうが良いのではないか。

④ その他意見等がなかったため、幹事団体は、代表幹事に JGA、副代表幹事に JGRA ならびに JGGA、監事に GTPA ならびに支配人会連合会とすることで合意した。

3. 自民党「教育・文化、スポーツ関係団体協議会」参加の件

JGA より、前回の運営会議において当該協議会へ参加する場合の確認事項が説明された。

1. 年に数回、自民党より各スポーツ団体への招集がかかるため情報収集ができる。
2. 一番のメリットは、議員にゴルフ界の要望を直接働きかけることが可能となる。

これを受け、参画団体より以下の通り意見が出された。

1. NGK: 自民党の代表者(議員)は誰なのか。

JGA: 自民党の組織運動本部の委員長は三谷議員であるが、委員長は毎年変わる可能性がある。

2. NGK: 従来より、スポーツ立国小委員会等の会議があるがそれらの会議との関連性について教えてほしい。今後、それぞれの会議と関わり合いを整理したい。

これを受け、関係性を早急に調べ、別途報告することとした。

また、主席者より様々な外部との繋がりの中で「サミット会議」の名称を使用することがあるため、名称を変更するのであれば早急に決定してほしいとの意見が出され、会則の変更案については、次回の運営会議までに精査することとなった。

4. その他

JGA より、年会費の入金を6月初旬までに手続きしてほしいとの依頼がなされた。

■報告事項

1. Women's Golf Day (WGD)について

表題の件について JGA より、以下の説明がなされた。

1. 概要

1. 2016 年からアメリカで制定された女性ゴルファー対象のイベント
2. 毎年6月第1火曜日に開催
3. 世界 900 以上のゴルフ関連施設で同日に開催
4. 2時間のゴルフプレー及び2時間のソーシャル活動を実施

2. 目的

1. ジュニアを含む女性ゴルファーの初めてのゴルフ体験や、経験者や初心者との交流のきっかけづくり。
2. 女性ゴルファーとゴルフ関連施設、企業、団体等との連携および支援。

3. 日本での活用方法

決まった日付や時期を設定し、新しい文化を根付かせることにより、国内の女性ゴルファーの活性化に繋げるためのひとつの参考例になる。

今後、JGA では、WGD の認知拡大を図るため、HP や SNS、プラットフォーム等を活用し積極的に発信する予定である。

続いて、JGA より、WGD は R&A や IGF もサポートしており、また国内の一部でも取り組んでいるが、JGA としても女性憲章部会等で様々議論している。現在作成している各団体の情報を取りまとめるプラットフォーム(HP)において、本件を普及させるために情報収集、発信を行っていきたい旨の説明がなされた。

これを受け、出席団体より以下の通り意見が出された。

1. WGD の本質的な目的である、女性ゴルファーの地位向上、社会的向上等が、単にコンペを開催する日と捉えられないように発信してほしい。
2. 商標やロゴ等は自由に使えるのかどうか。
イベントを開催するにあたり、主催団体、企業個々の有料登録が必要である。
3. 当初、JGGA で WGD として6月に大々的に1ラウンドコンペを開催する予定であったが、WGD の、「プレーの他にソーシャル活動の実施」等のレギュレーションにより、開催対象外となるため、今回は女性限定のコンペとして開催することになった経緯がある。

上記2については、「サミット会議」で登録すれば、加盟している全ての団体が使用できるか確認することとした。

2. ウクライナ支援の件

表題の件について IOC や IGF 等強めな表現で発信をしているが、JGA においても平和を願うという意味合いのものを出している。サミット会議においては、どのような活動をすべきかについて出席団体より以下の通り意見が出された。

1. メッセージは、HP にて発信したほうがよいのではないか。あまり費用をかけずに、個々の団体が使用できるようなデータ作成し、各々が入手できるようにしてはどうか。
2. 会員から声が上がリ、会員向けにウクライナ緊急募金を始めたが、HP にあまり目立たずに掲出している。ウクライナの子供に支援する目的としてユニセフに寄付する予定である。また、ウクライナ大使館は寄付金扱いにならないこともありユニセフへ寄付することとなった。
3. HP にはメッセージは出していないが、選手の任意で、腕やウェアにウクライナ国旗のワッペンを付けている大会もある。
4. 現在は何も出しておらず、ゴルフ界全体で発信する方向性になれば合わせて発信していくが、そうでなければ、団体独自に検討する必要も出てくる。

議論の結果、サミット会議としてメッセージ草案を作成し、承認が取れば HP へ掲載することが確認された。

第 4 回運営会議： 6 月 30 日(木) 10 時 30 分～12 時

以上